



# ひとりだち

可児市立西可児中学校



R7 校報第7号

令和7年9月30日



## 学校運営協議会

主幹教諭 中島 敦

6月に学校運営協議会が行われました。学校運営協議会制度（コミュニティスクール）は、学校と地域が協力して子どもたちを育て「地域とともにある学校づくり」を実現するための制度です。

西可児中学校校区では西可児中学校、春里小学校、南帷子小学校の3校が合同で学校運営協議会が行われています。

これは、小中学校の義務教育9年間で子どもたちの成長を見届けていくというねらいがあります。

最初に各校長から各学校の運営の基本方針の説明が行われ、承認されました。

南帷子小学校では、「かしこさ」「やさしさ」「たくましさ」を学校経営の柱にして取り組みが行われていること、地域との交流が活発に行われていること、春里小学校では、近所にあるいちごファーム見学を例に出しながら、ふるさととのつながりを語られました。西可児中学校では、「ひとりだち」「自立」「貢献」を教育目標としながら、本年度は「安心」と「ワクワク」をキーワードに中学校3年間での目指す姿を語られました。各校の運営方針が承認された後は、授業参観を行い、次に「話し合い」が行われました。

学校運営協議会委員は、14名です。話し合いのテーマは、西可児中校区の児童生徒に備わってほしい道徳的な価値についてでした。各委員の方々より、積極的なご意見をいただきました。いろいろと話していく中で、各委員のみなさんの共通していた思いは、「かかわり」「つながり」「思いやり」です。最近はネットなどのつながりはあるけれども、リアルなつながりが、かなり不足している。地域や学校での生徒同士、地域の方とのふれあいをどんどん増やしていこうという話になりました。

現在、地域学校協働本部との連携についてできることを模索しております。次回の学校運営協議会は、今までの実践、今後のコミュニティスクールの方向などを話していく予定です。また報告いたします。

